

(第三種郵便物認可)

2006年(平成18年)10月14日(土曜日)

中堅・中小企業の製造現場のリーダーを育成する「工場長養成塾」の入塾式。写真が13日、名古屋市内で行われた。養成塾は、経済産業省がもの作りの競争力を強化するために展開している「産学連携製造中核人材育成事業」の一環で、名古屋工業大、豊田自動織機、デンソー技研センターの協力を得て行われる。来年度からの本格実施に向けて試験的に行い、運営上の問題点を検証する狙いもある。受講生は、来年2月までに延べ21日、148時間にわたるカリキュラムをこなす。内訳は、名工大で講義を受ける座学(40時間)、模擬ラインを

製造現場のリーダー育成

名古屋で入塾式 16社の工場長候補参加



活用した演習(16時間)、受講生が所属する工場にベテラン現場指導員が出向いての実践(80時間)などとなっている。入塾式には、応募した55社から選ばれた16社の工場長候補者らが参加した。名工大の松井信行学長は、この塾には、地域のもの作りへの熱い思いを後世まで伝えるとともに、それぞれの部署で指導的な役割を果たす人材に育って欲しいという強い気持ちで込められている」とあいさつし、受講生らを激励した。

東海

TOKAI

\$

と

う

か

い

も